

企画展 「萌し—いのち満つるかたち」 「無題」

作品「無題」は、日本でも美術館などで戦後急速に展開した抽象表現の作品が多数取り上げられるようになった1970年代の作品です。文字から出発した桃紅の抽象も、この頃にはほとんど文字のかたちが見えなくなりま

す。画面下には、薄墨と銀泥そして三十年という歳月がつくりだした味のある面と、湿潤で純粹な濃墨のフラットな面という趣が異なる2つの面がどしどしとま、その2つの面の間から伸びたよう

本展では、暖かい陽気の中で生きものたちの気配を感じる春をテーマに、桃紅の内萌し、作品の中で生命を与えられた、尽きることのない抽象のかたちと色の世界を紹介しています。



図版掲載 『無題』1972~78年 墨、銀泥、和紙

- 会 期… 6月28日(日)まで
- 入館料… 高校生以上300円・中学生以下無料。
- 休 館… 月曜(休日を除く)および祝日の翌日(土・日・休日を除く)
- 開館時間… 午前9時~午後4時30分
- 照会先… 篠田桃紅美術空間(市役所7階) ☎23-7756

なしなやかな線が、空間の自由を楽しむようにのびのびと描かれています。またこの作品では、余白がとても多くの部分を占め、描かれるものは最小限に省略されていてながら、そのかたちがさわだてられ、満たされた空間に仕上がっています。この作品は、桃紅の中に息づく日本の書特有の余白の美意識と、その後の作に通じる抽象的な面を使った表現の両方を垣間見ることが出来る作品です。

ひとひと 女と男 とともに自分らしく生きよう vol. 59

男女共同参画社会

「さんかくの木」

昨年12月のいきいきフェスタ2008、今年の2月の男女共同参画市民フォーラムで、私たちさんかくサポーターは、「さんかくの木」を作りました。

来場者に葉やりんごの形の紙を渡して男女共同参画に関する思いを書いてもらい、木に貼っていきました。

思わずほほ笑んでしまうもの、そうだよねえとうなずけるものなどさまざまの思いが寄せられました。

これから順次、私たちがこの内容を紹介していきます。ひょっとしたら、自分が書いたものが紹介されるかも……。

この「さんかくの木」は、当分の間、わかかさ・プラザ学習情報館2階の男女共同参画コーナーに展示しますので、実物もご覧になれます。

もっともっとこの「さんかくの木」をたくさん作って、関市のあちこちに増やして、「さんかくの森」を作りたいなあ。



〈照会先〉さんかくサポーター事務局(企画政策課内) ☎23-6876